

ESD に取り組むアジア NGO ネットワーク構築

～ 2014 年(ESD の 10 年最終年)にむけて国際社会、政府、NGO ができること～

環境、人権、平和構築、貧困など、多様な課題を抱えるアジア。これらの課題解決に取り組み、持続可能な地域をつくるため、多様な取り組みが、国際、国、地域レベルで行われています。中でも NGO は、地域コミュニティをエンパワーしながら、地域の持続可能な開発を実現する活動の主たる担い手でもあります。

2010 年 8 月、インドネシアのスラバヤ郊外の PPLH 環境教育センターにて、アジアの NGO のための ESD ネットワークの意義、有益性、果たすべき機能、オーナーシップの在り方、体制、発足に向けた体制について議論をするスラバヤワークショップを開催しました。アジア 5 カ国よりアジア実践事例交流事業 (AGEPP) のメンバー NGO を中心とした 7 つの NGO が集まり、2014 年をめどとした、Asia NGO Network on ESD 構築の必要性に合意しました。

こうした背景を踏まえ、本フォーラムは、以下を目的に開催されます。

1. スラバヤワークショップで議論された、アジアの NGO による ESD の取り組みやアジアネットワークの意義を共有
2. 特にアジアにおける ESD の現状と今後の展望を共有
3. 自立発展性のあるアジアの NGO ネットワーク発足およびさらなる NGO の活動の発展にむけて何が求められているのか、国連や政府、日本の NGO がどういった貢献ができるのかについて公開円卓会合で議論より活発な議論につながるよう、より多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日時： 2010 年 12 月 12 日(日) 14:00～17:30

場所： 池袋キャンパス太刀川記念館

資料代： 500 円

定員： 100 名(要申し込み)

登壇者

ゲストスピーカー

- ・ラメッシュ・サヴァリア氏 CEE (インド環境教育センター) プログラム・コーディネーター
- ・ミッコ・キャンテル氏 ユネスコバンコク事務所 暫定 ESD セクションチーフ

公開円卓会議参加 ESD 関連機関

- ・浅井 孝司氏 文部科学省 国際課国際協力政策 室長
- ・荒井眞一氏 国連大学サステイナビリティと平和研究所 (UNU-ISP) シニア・フェロー
- ・安田佐知子氏 国連大学高等研究所 ESD セクション プログラム・アソシエート
- ・三次啓都氏 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 地球環境部 森林・自然環境保全グループ長
- ・志和久恵氏 独立行政法人国際交流基金 JENESYS プログラム主担当
- ・島津正数氏 財団法人 ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) 事務局長
- ・伊藤道雄氏 特定非営利活動法人 アジア・コミュニティ・センター21 (ACC21) 代表理事/立教大学 AIIC 特任教授
- ・大崎恵美氏 財団法人オイスカ 国際協力部

・竹内よし子氏 NPO 法人えひめグローバルネットワーク 代表 / ESD-J 理事

・阿部治 立教大学教授/ESD 研究センター長/ESD-J 顧問

主催： 認定非営利活動法人 持続可能な開発のための教育の 10 年推進会議(ESD-J)

共催： 立教大学 ESD 研究センター

同時通訳付き

参加希望の方は、[seminar@esd-j.org](mailto:seminar@esd-j.org)にてお申し込みください。その際、件名を「国際フォーラム申し込み」とし、 お名前 ご所属（会社、団体、学校など） メールアドレス（または電話番号） 会員区分（一般、ESD-J 会員、学生） ひとこと自己紹介（自由記述） 当日期待すること、質問（自由記述） 今回の案内をどこでお知りになったか（自由記述）をお知らせください。